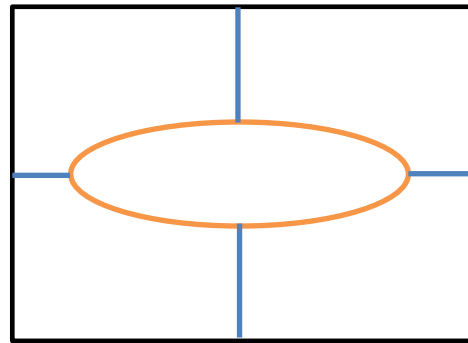


§ 準備のいないワークショップ §

5 自己紹介・4つの扉

1. 自己紹介・4つの扉とは

自己紹介をするために、視覚補材として、4つに分かれた記入シートを使う方法です。真ん中の楕円の部分に自分の名前を書き、回りの4つの部分に自分をアピールするキーワード（単語）を書きます。〈例：趣味、好きな色、好きな食べ物、これからしたいこと等〉。キーワードを記入することによって、自分では気がつかなかったことが発見でき、改めて自分の特技や特性に気がつきます。指名されてすぐ発表するよりも考える時間があり、キーワードを示しながら話すので、難しさが軽減できます。



2. 目的

- (1) 自分自身を効果的に相手に伝える。
- (2) 短時間で客観的に、そして多角的に自分自身を分析できる。

3. 構成

- (1) リーダーは記入シートを配り、自分の名前と自分をアピールする4つのキーワードを、1分で記入するよう指示する。
 - * 聴衆に見えるように、はっきりした大きな字で書くことを勧める。
 - * 4つ書けなくても1分で記入を終了する。
- (2) 記入後、リーダーは自身の記入シートを使って、最初に発表の見本を示す。
- (3) 1人ずつ、1分で自己紹介を発表する。1番目の発表者はリーダーが指名する。
- (4) 1番目の自己紹介が終わったら、リーダーは（次の発表者を指名する前に）、その発表の良かった点を伝え、参加者全員で温かく受けとめる。
- (5) 発表を終えた人が、次の発表者を指名し、順に自己紹介をする。

4. 効果

- (1) 視覚補材があるため、話し手は言い忘れることがなく、聞き手にとっても文字と言葉で内容が記憶に残りやすい。
- (2) 書くことによって今まで気がつかなかった自分の特技や特性に気がつく。
- (3) 4つの扉があることで自分自身を多角的に見つめ紹介することができる。
 - ◎ このアレンジとして「他者紹介」に応用できる。その場合は、2人一組となってお互い自己紹介をした後、記入シートの4つの言葉を使って相手の紹介を発表する。記入シートは、自分で書く方法と、相手に書いてもらう方法がある。
 - ◎ この「他者紹介」は、紹介スピーチの練習になる。

5. 用意するもの（参加人数＋リーダー一分）

記入シート、太字のフェルトペン

<ITC-J 第36期 教育資料委員会 >

作者：烏谷まゆみ 浦濱恭子 齊木ゆかり 山口久美子